

平成25年度施策評価シート(平成24年度実施事業)

作成主管課	生涯学習課
	関係課
施策名	文化財
施策コード	5-3-1

総合計画後期基本計画の内容

政策体系	政策	第5章 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり〔教育・文化〕
	小政策	3 個性と創造性豊かな笠間の文化を広げていきます
現況と課題	<p>本市に残され、継承されている文化財は、歴史や風土を知るうえで欠かせないものであると同時に、新たな発展の素材となり得る財産です。そして、緑豊かな田園や里山、生活の風景は、本市の魅力となっています。しかしながら、継承する地域における高齢化や財政的な問題から、後世へ継承していくことが困難な状況にあります。また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、市が誇る有形文化財にも、著しい被害が発生し、修復には時間と技術を要する状況にあります。</p> <p>本市では、文化財の調査、研究を実施しながら、年次的に文化財の指定を行うとともに、資料館における展示や環境整備を進めてきました。また、開発によって貴重な文化財を損失することがないように、適切な埋蔵文化財保護体制の確立に努め、平成23年には、郷土意識の高揚を図るため、合併後初となる新笠間市史を発刊しました。</p> <p>今後は、地域資源を生かしたまちづくりを進めるうえでも、その基礎となる本市の有形・無形文化財について、関係機関と連携し適切な保護・活用を図りながら、情報発信にも力を入れていく必要があります。</p>	
施策目標	市の魅力向上や今後の地域づくりに資する資源として、地域との協力のもと、さまざまな機会を通じた情報発信や関係機関との連携を図りながら、専門性や承継体制を確立し、歴史的・文化的資源の保全と活用を推進します。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	地元管理で次の世代に引き継いだときに管理をしてもらえるのか心配している。
-------------	--------------------------------------

(1)目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
歴史的・文化的資源が有効に活用されていると感じている市民の割合	市民実感度	38.160	34.230				
	加重平均値	2.334	2.298				
当施策を重要と感じている市民の割合	市民実感度						
	加重平均値						
	重要度		79.220				
	加重平均値		3.226				

(2)目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
資料館の入場者数 (笠間市立歴史民俗資料館)	目標値	人		1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
	実績値	人	1,575	1,296				
	達成度	%		108.00				
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							

数値指標の考え方	指標設定の考え方	歴史的・文化的資源の保全と活用が図られているか、歴史的・文化的資料を展示している歴史民俗資料館の入場者数とした。
	目標値設定の考え方	歴史民俗資料館の入場者数拡大を目指し、年間入場者数を10人増とした。

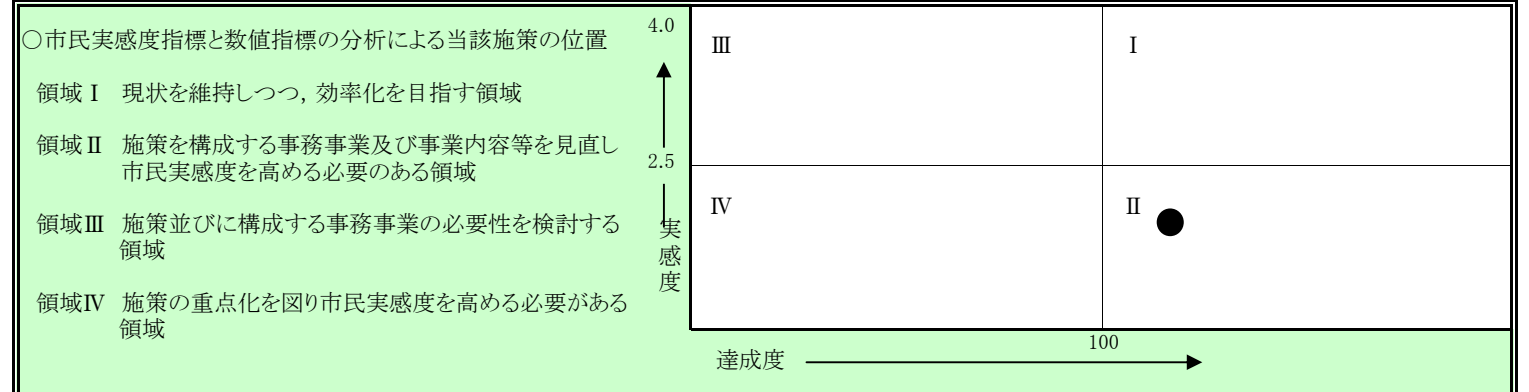
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 市民一人ひとりが文化財保護の意識を持ち、地域や団体に協力しながら保護し、後世に継承していく。
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 文化財の維持管理を適切に行い、文化財の展示や情報の発信により保護・継承に努める。

3 平成24年度の取組状況

取組状況等	取り組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。 被災した指定文化財10件の修理に補助金を交付し文化財の保護を図った。(補助金を交付して、所有者・管理者の負担を軽減することにより理解を得られた。)埋蔵文化財の保護を図るため現地踏査(33箇所)や試掘調査(5箇所)を実施した。
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 施策の評価(現状分析)



達成度評価	指標を分析した結果施策目標は達成されたのか 歴史民俗資料館の入場者数は目標を達成したが、市民実感度が平均より低いため、文化財を身近に感じてもらえるように情報発信や地域・団体等と連携を図りながら文化財を活用する必要がある。
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

構成事務事業の適正性	施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か 文化財を保護する事業や情報発信等で文化財保護の意識を市民に持ってもらう事業で、文化財を後世に継承していくには必要な事業で妥当と思われる。
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

残された課題	平成25年度以降に残る課題、その要因として考えられること。 文化財を保護し後世へ継承していくために、若い世代の人が興味を持てるような情報発信の方法を考えていかなければならない。
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------

5 今後の方向性

取組方針	平成26年度に向けた施策方針 文化財を後世に継承していくために、これからも情報発信や指定文化財の公開等活用を図り、文化財保護意識の高揚に努める。
------	-----------------------------------------------------------------------------

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果				補助区分	事業費(千円)			貢献度評価	
			成果指標	単位	平成22年度	平成23年度		平成24年度	平成22年度	平成23年度		平成24年度
1	文化財愛護協会事業	政策的事業	小学生郷土教室参加者数 児童生徒郷土研究発表参加者数	人 人	59 50	77 54	69 76	市単	41	41	41	11
2	塙家住宅管理事業	維持管理事業	保守点検回数	回	2	2	2	市単	25	25	25	8
3	指定文化財管理事業	政策的事業	修復等件数	件	1	2	2	市単	120	53	195	3
4	資料館運営事業	維持管理事業	入館者数	人	1,048	1,575	1,296	市単	1,803	2,111	3,043	1
5	埋蔵文化財保護事業	義務的事業	埋蔵文化財保護件数	件	14	8	5	市単	730	582	370	義務的事業
6	市史研究事業	政策的事業	資料数	点	—	—	—	市単	5,651	1,252	973	3
7	文化財支援事業	政策的事業	文化財修復数	件	—	—	9	市単	—	—	3,489	8
8	ふるさと資料館整備事業	建設・整備事業	修繕工事件数	件	—	1	—	市単	—	1,869	550	12
9	笠間の先人たち刊行事業	政策的事業	掲載した先人数 発刊部数	人 部	—	—	—	市単	—	—	363	9
10	笠間城保存整備基礎調査事業	政策的事業	報告書印刷数	冊	—	—	20	市単	—	—	5,565	4
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
事業費合計									8,370	5,933	14,614	

シート1 施策構成事務事業目的直結度評価

施策名 文化財



法定受託事務(義務的事業に分類)
埋蔵文化財保護事業

